

瑞浪市子ども・子育て支援事業計画における 「基本理念」について

瑞浪市子ども・子育て支援事業計画 基本理念の考え方

<上位計画>

瑞浪市総合計画（平成26年度～平成35年度）

<子ども・子育て支援分野の個別計画>

瑞浪市次世代育成支援対策推進行動計画
（後期計画）
みずなみ子育て応援プラン
（平成22年度～平成26年度）

瑞浪市子ども・子育て
支援事業計画
（平成27年度～平成31年度）

新計画の基本理念は、上位計画である瑞浪市総合計画において各分野で取り組むまちづくりの方向性として定められている方針を基本とし、子ども・子育て支援分野の現行計画である瑞浪市次世代育成支援行動計画（後期計画）みずなみ子育て応援プランの基本理念も参考としながら、子ども・子育て支援法第2条の基本理念及び基本指針の子ども・子育て支援の意義に沿って考える必要がある。

◎計画を位置づける法の基本理念

子ども・子育て支援法

第2条（基本理念）

子ども・子育て支援は、父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、各々の役割を果たすとともに、相互に協力して行われなければならない。

2 子ども・子育て支援給付その他の子ども・子育て支援の内容及び水準は、全ての子どもが健やかに成長するように支援するものであって、良質かつ適切なものでなければならない。

3 子ども・子育て支援給付その他の子ども・子育て支援は、地域の実情に応じて、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行われなければならない。

次世代育成支援対策推進法

第3条（基本理念）

次世代育成支援対策は、父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本理念の下に、家庭その他の場において、子育ての意義についての理解が深められ、かつ、子育てに伴う喜びが実感されるよう配慮して行われなければならない。

◎基本指針（案）子ども・子育て支援の意義に関する事項の概要

第一 子ども・子育て支援の意義に関する事項

- 「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指すとの考え方を基本とする。
- 障害、疾病、虐待、貧困など社会的な支援の必要性が高い子どもやその家族を含め、全ての子どもや子育て家庭を対象とし、一人一人の子どもの健やかな育ちを等しく保障することを目指す。
- 核家族化の進展、地域のつながりの希薄化、共働き家庭の増加、依然として多くの待機児童の存在、児童虐待の深刻化、兄弟姉妹の数の減少など、子育て家庭や子どもの育ちをめぐる環境が変化。
- 子ども・子育て支援とは、保護者が子育てについての第一義的責任を有することを前提としつつ、上記の環境の変化を踏まえ、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援をしていくこと。そうした支援により、より良い親子関係を形成していくことは、子どものより良い育ちを実現することに他ならない。
- 乳児期における愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得など、乳幼児期の重要性や特性を踏まえ、発達に応じた適切な保護者の関わりや、質の高い教育・保育の安定的な提供を通じ、子どもの健やかな発達を保障することが必要。
- 子どもや子育て家庭の置かれた状況や地域の実情を踏まえ、幼児期の学校教育・保育、地域における多様な子ども・子育て支援の量的拡充と質的改善を図ることが必要。その際、妊娠・出産期からの切れ目のない支援を行っていくことに留意することが重要。
- 社会のあらゆる分野における全ての構成員が、子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、各々が協働し、それぞれの役割を果たすことが必要。

（自治体向け説明会資料より抜粋）

瑞浪市総合計画 まちづくりの基本方針（健康福祉分野）

みんなで支え合い健やかに暮らせるまち

<基本方針の説明>

健康の増進、高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉の充実を図ることで健やかな心と身体を育み、地域住民が共に支え合いながら安心して暮らしていけるまちづくりを進めます。

瑞浪市次世代育成支援対策推進行動計画（後期計画）

みずなみ子育て支援応援プラン 基本理念

伸びやかに育つ環境づくり 誇りが持てる子どもと子育て

<基本理念の説明>

これから結婚していく若者、子ども、親、及び地域社会の視点からの将来像を次のように整理した。

①これから結婚していく若者の視点から・・・

家庭をつくることに対して希望を持ち、結婚し、子どもを持つことに誇りがもてる

②子どもの視点から・・・

その誕生が周囲から喜ばれ、親の愛情を受けて育ち、のびのびと成長し、仲間集団の中での遊びや生活を通じ、豊かな人間性を形成していく

③親の視点から・・・

安心して子どもを育てられ、子育てが楽しく感じられるような環境を地域や行政とともに作り、親自身も子育てを通じて成長していく

④地域社会の視点から・・・

子どもを地域の財産として捉え、子育てを互いに助け合い、支え合っていける。また、様々な環境にある人が安心して子育てできるように、職場、地域住民など社会全体で支え合っていける